

RAW 264.7 マクロファージ細胞におけるエンドキシン刺激一酸化窒素産生のメカニズムとその制御機構

○横地高志、杉山剛志、小出直樹、吉田友昭
愛知医大・微生物免疫

エンドキシンは、マクロファージ細胞株であるRAW 264.7細胞を活性化し、一酸化窒素を産生する。当教室では、このエンドキシン刺激によるNO産生のメカニズムを刺激伝達経路を中心に研究してきた。NF- κ B、MAPキナーゼ、Jak/Statなどさまざまなシグナル分子を活性化し、複雑な制御を行っていることが次第に明らかになってきた。今回は、このエンドキシン刺激によるNO産生における最近の知見を概説し、その制御機構を紹介したい。具体的には、2 aminopurine、D-galactosamine、butylateなどを用いて得られた結果を紹介し、それぞれの作用点などを想定し、全体像を提示したい。